

平成 29 年 6 月 17 日

## 平成 29 年度 財務委員会活動方針

担当専務理事 神余 智夫  
財務委員長 板倉 雄一郎

本年度財務委員会は、担当は専務理事の兼務での所管となり、総務委員会等との連携の元、事務局の財務や会計の管理の業務を中心として、組織業務のスムーズな運営に資するよう努めて参ります。

### 1. 会計業務全般

全附P連の事務局と連携して、定期的に現金及び預金の残高及び現金出納帳と預金通帳の収支の確認を行うことといたします。また、タイムリーに予算の執行状況について確認をすると共に、理事会において、その執行状況と今後の決算の見込について報告いたします。

特に今年度は土曜・放課後活動等助成事業にさらにいじめ対策活動等助成事業が加わり、助成事業が増えており、また、特別活動として特別広報活動費 500 万円と貧困対策・財務教育等 300 万円などの大きな予算計上がございますので、事業予算の適正執行にむけて事業の推移を適宜確認していきます。

### 2. カンガルー保険関係業務

昨年度に引き続き、カンガルー保険を広く普及させるためのDVDを使って啓発活動を継続いたします。全国大会を始め、各地区大会や各学校園での説明会で、DVDを使い映像により分かりやすく、カンガルー保険の必要性を広報していきます。

なお、カンガルー保険の加入者の更なる増加に向けて、保険会社と連携し、地区毎・商品毎に分析して、推進策の検討を行っていきます。

### 3. 財政教育プログラム関連業務

今年度より担当することとなりましたので、財務省と連携し、財務委員会でできる推進活動を検討し、開催校数の増加と全ての都道府県での開催を目指して、広報活動を推進して参ります。

### 4. 他の委員会との連携

総務委員会との連携や運営企画会議への参画等を通して、奨学金の検討など、新規事業の下地になるような検討会・勉強会などを行って参ります。